



# 平成22年12月期 決算説明資料

2011年1月31日  
昭和シェル石油株式会社

## 注意事項

**この資料には、当社グループ（当社及び連結子会社）の将来についての計画や戦略、業績に関する予想、見通しの記述が含まれています。**

**これらの記述は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。**

**従いまして、経済情勢や市場動向、並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性がありますので、予めご了承下さい。**

# 連結損益計算書ハイライト – 第4四半期累計期間(1-12月)

		2009年	2010年	増減	前年同期比(%)
ドバイ原油価格	(USD/bbl)	61.9	78.1	16.2	+26.2%
為替レート	(¥/USD)	93.6	87.8	-5.8	-6.2%
	(¥/EUR)	130.4	116.3	-14.1	-10.8%

(百万円)		2009年	2010年	増減	前年同期比(%)
売上高		2,022,520	2,346,081	+ 323,561	+16.0%
営業利益		-57,142	36,701	+ 93,843	-
営業外損益		687	5,446	+ 4,759	-
経常利益		-56,455	42,148	+ 98,603	-
※在庫影響		-44,763	7,861	+ 52,624	-
※CCSベース経常利益		-11,691	34,286	+ 45,977	-
特別損益		-27,224	-5,891	+ 21,333	-
当期純利益		-57,619	15,956	+ 73,575	-

【注】 カレント・コスト・オブ・サプライ (CCS) ベースの収益： たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

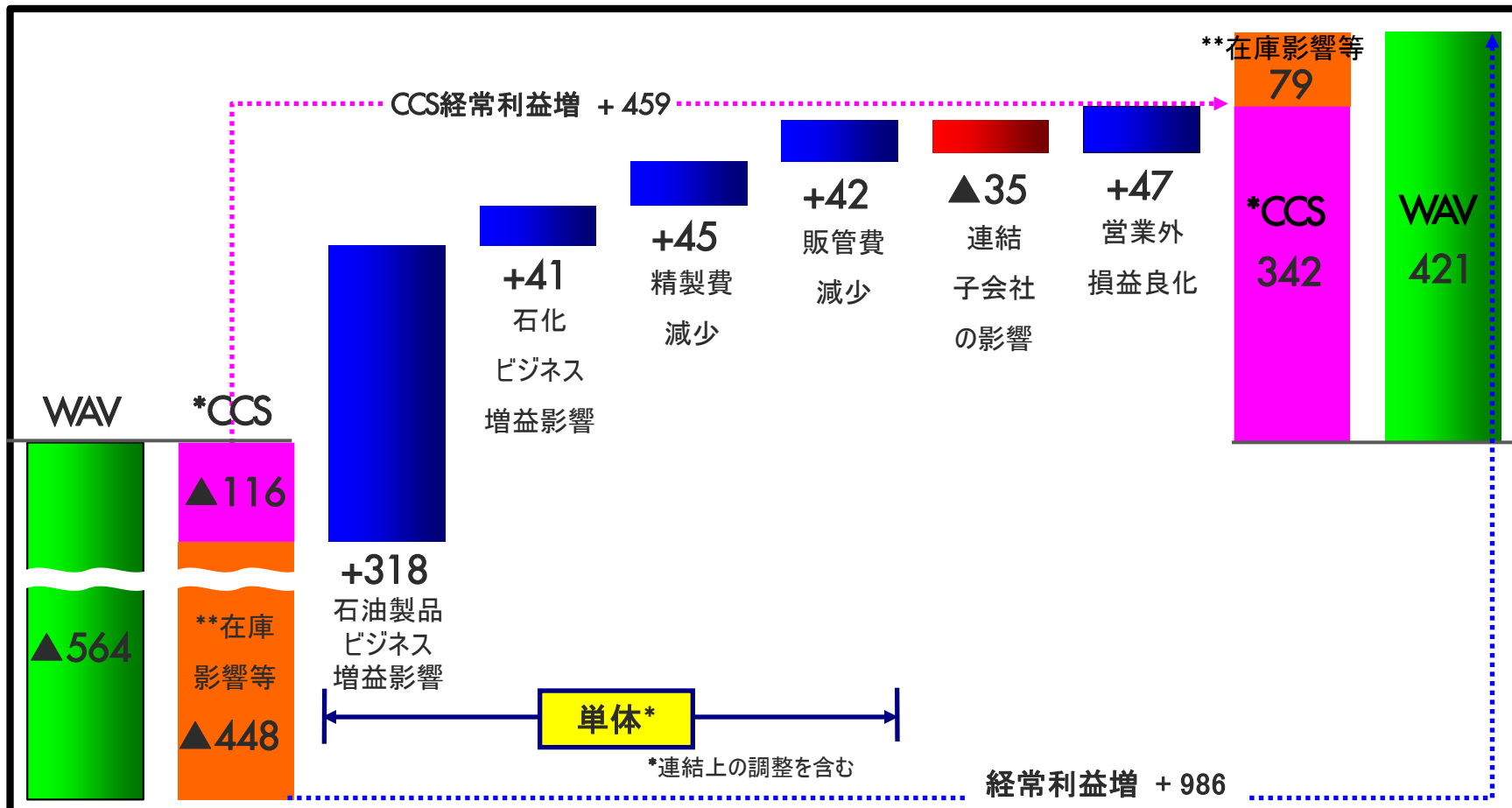
# 決算のポイント

- 平成22年12月期連結累計業績は売上高2兆3460億円（前年同期比16.0%の増収）  
経常利益421億円（同986億円の増益）となりました。  
また、たな卸資産評価の影響を除く実質経常利益（CCSベース経常利益）は  
342億円（同459億円の増益）となりました。
- 石油製品の総販売量は、積極的な輸出の効果もあり、前年比1.5%の増加  
になりました。
- 石油製品ビジネスにおいては、国内の需給環境の良化、及び第2四半期以降  
における猛暑や寒波といった季節ごとの需要押し上げ要因もあり、前期比で  
マージンが318億円改善しました。
- 太陽電池事業においては、900MWの生産規模となる宮崎第三工場の建設が  
計画通り順調に進捗しました。

# 経常利益の比較 2009 vs. 2010

(単位: 億円)

(連結ベース)



2009

\* CCS: Current Cost of Supply (在庫評価の影響を除いたもの)

\*\*「在庫影響等」には、たな卸資産の簿価切下げによる影響を含む。

2010

# 原油処理実績と販売数量実績

## ■ 原油処理実績と稼働率

(千KL)	2009年	2010年	増減
原油処理実績	25,804	25,168	-636
稼働率	86.3%	84.2%	-2.1%

## ■ 製品別販売数量 【注】カーゴトレードを除く

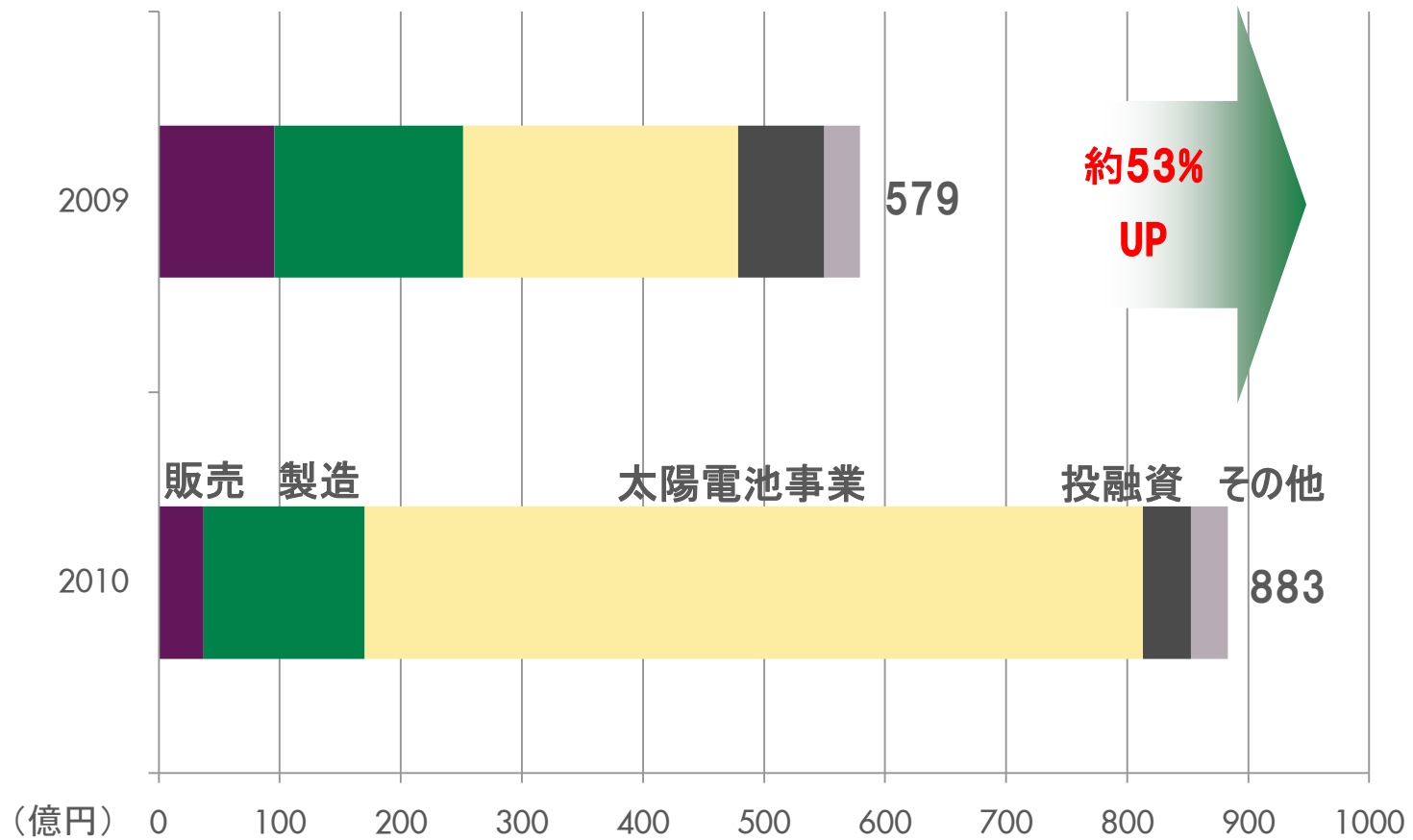
(千KL)	2009年	2010年	増減	前年同期比
揮発油	9,249	9,089	-160	- 1.7%
ジェット燃料	2,186	2,105	-81	- 3.7%
灯油	2,573	2,407	-166	- 6.5%
軽油	4,531	4,377	-154	- 3.4%
A重油	1,581	1,433	-148	- 9.4%
C重油	1,694	1,424	-270	- 15.9%
その他	4,704	4,195	-509	- 10.8%
輸出	2,680	4,606	1,926	+ 71.9%
合計	29,198	29,637	439	+ 1.5%

# 販管費

## ■ 販売費および一般管理費(単体)

(百万円)	2009年度実績	2010年度実績	増減	前年同期比
運送費	30,521	28,657	- 1,864	-6.1%
油槽所費	7,706	7,186	- 520	-6.7%
販売促進費	2,919	3,878	+ 959	32.9%
その他販売費	11,067	9,713	- 1,354	-12.2%
管理部門費	13,379	12,038	- 1,341	-10.0%
人件費	17,458	17,086	- 372	-2.1%
減価償却費	3,042	3,280	+ 238	7.8%
計	86,092	81,840	- 4,252	-4.9%

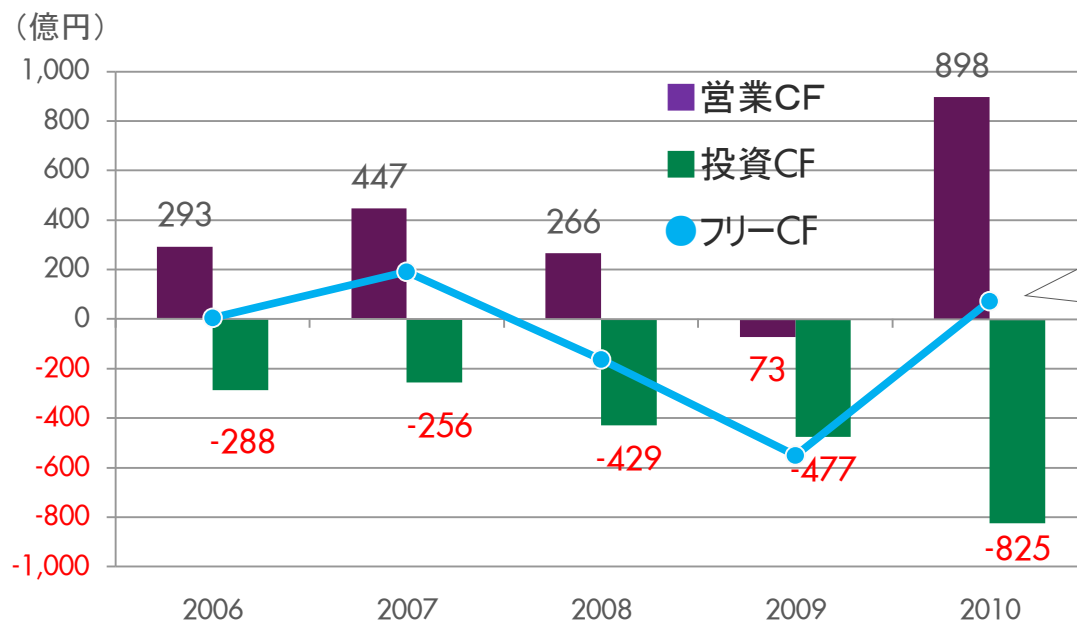
# 投資額推移







# 連結キャッシュフロー推移



営業CFの増加要因のうち  
減価償却費影響は339億円

投資CFの減少要因のうち設備  
投資額影響は825億円

(百万円)	2009年	2010年	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	-7,395	89,836	+ 97,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	-47,761	-82,510	- 34,749
フリー・キャッシュ・フロー	-55,156	7,326	+ 62,482
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,371	-8,671	- 13,042

# SS数推移

## ■ 固定式SS数とセルフSS数 ※12月末時点

(ヶ所)	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
固定式SS数	4,575	4,481	4,305	4,143	3,948
セルフSS数	583	719	852	947	960
セルフSS比率	12.7%	16.0%	19.8%	22.9%	24.3%

# 2010年 トピックス - 1

2月 川崎製油所扇町工場閉鎖の決定

3月 太陽電池の製造・販売を行う100%子会社の新社名  
およびブランドをソーラーフロンティアと統一し  
ドイツとアメリカに海外販売子会社を設立



扇島パワーステーション1号機の営業運転開始

7月 扇島パワーステーション2号機の営業運転開始



8月 新潟雪国型メガソーラー運営開始



# 2010年 トピックス - 2

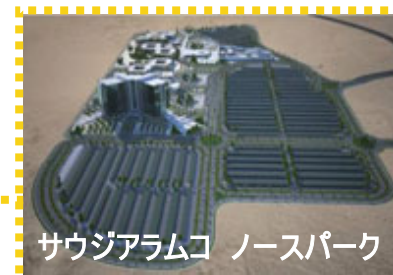
9月 自動車用エンジンオイル「Shell HELIXシリーズ」  
の製品規格及び製品ラインナップを変更



10月 ソーラーフロンティアとGEがCIS太陽電池モジュールの供給  
及びシステム開発で提携

ソーラーフロンティアとIBMが CZTS太陽電池の共同開発で合意

ソーラーフロンティアが10MWのCIS太陽電池モジュールを  
サウジアラムコ社のノースパーク・プロジェクトに供給決定



12月 岡山県に次世代型サービスステーションをオープン



# 平成23年12月期連結業績予想

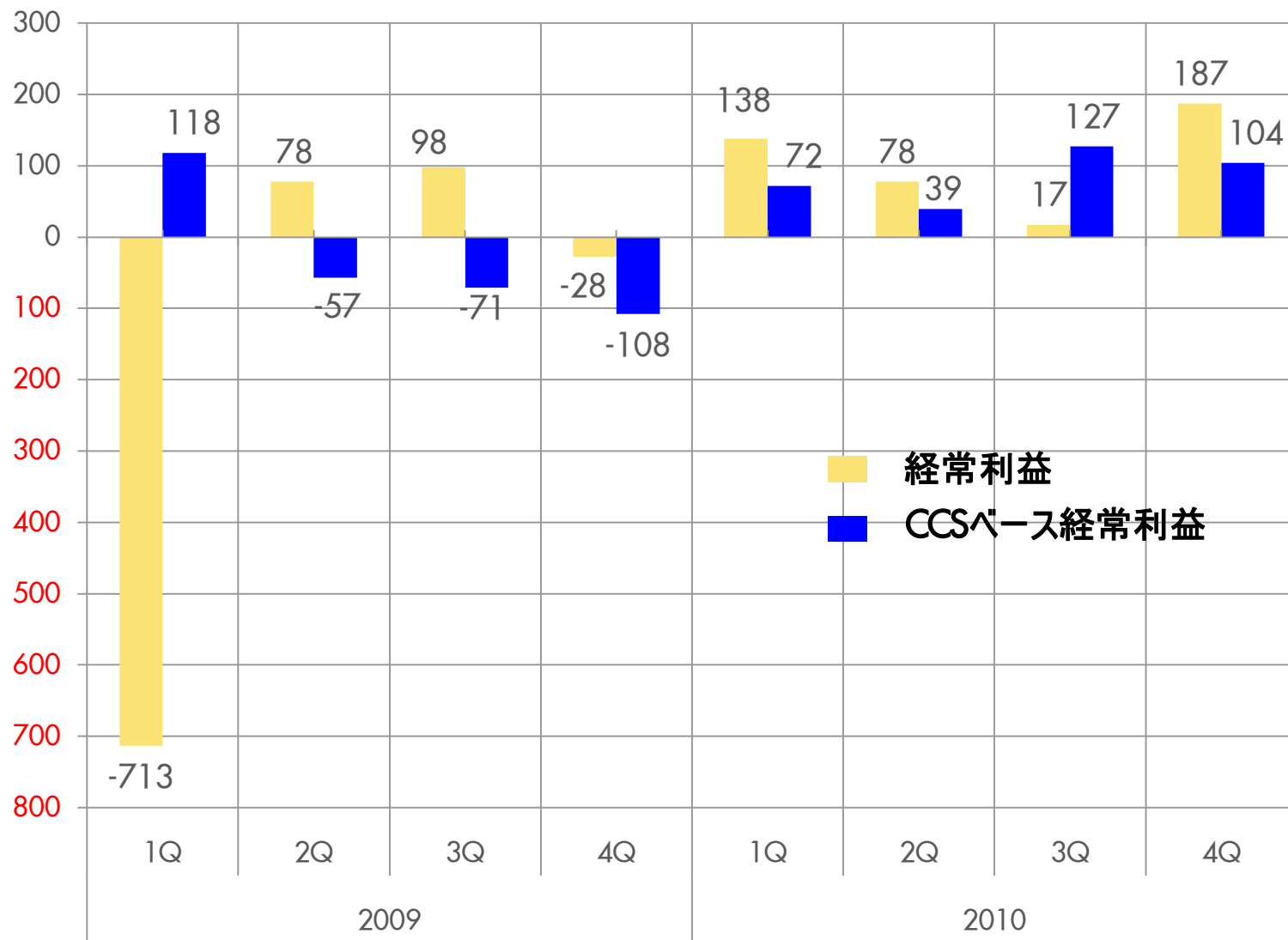
		2010年実績	2011年予想	増減	前年同期比 (%)
ドバイ原油価格	(USD/bbl)	78.1	86.0	+ 7.9	+10.1%
為替レート	(¥/USD)	87.8	80.0	- 7.8	-8.9%
	(¥/EUR)	116.3	115.0	- 1.3	-1.1%
(百万円)		2010年実績	2011年予想	増減	前年同期比 (%)
売上高		2,346,081	2,396,000	+ 49,919	+2.1%
営業利益		36,701	32,000	- 4,701	-
経常利益		42,148	31,000	- 11,148	-
※在庫影響		7,861	0	- 7,861	-
※CCSベース経常利益		34,286	31,000	- 3,286	-
当期純利益		15,956	18,500	+ 2,544	-

【注】 カレント・コスト・オブ・サプライ（CCS）ベースの収益： たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

# 参考データ集

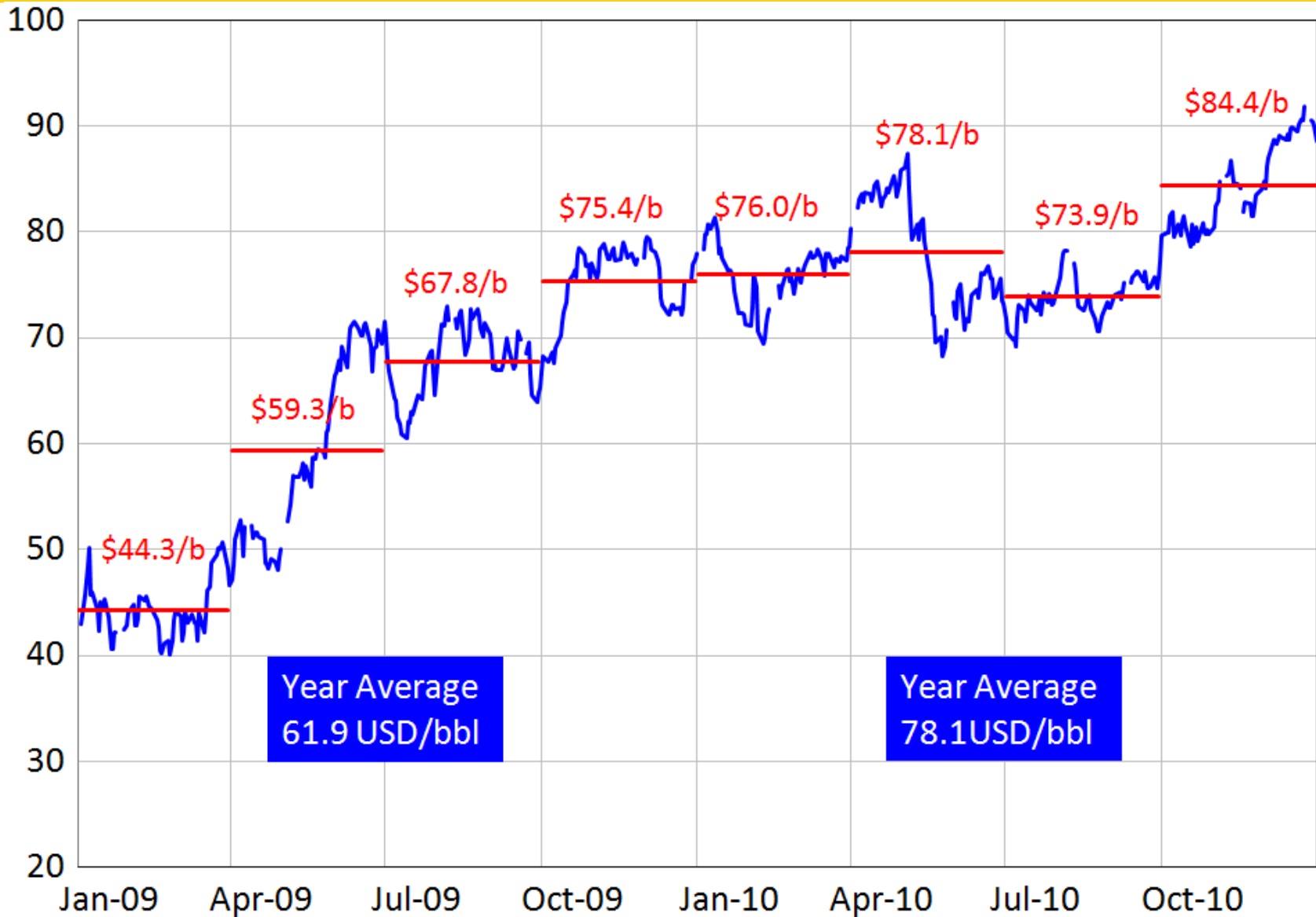
# 四半期別 経常利益の推移

億円

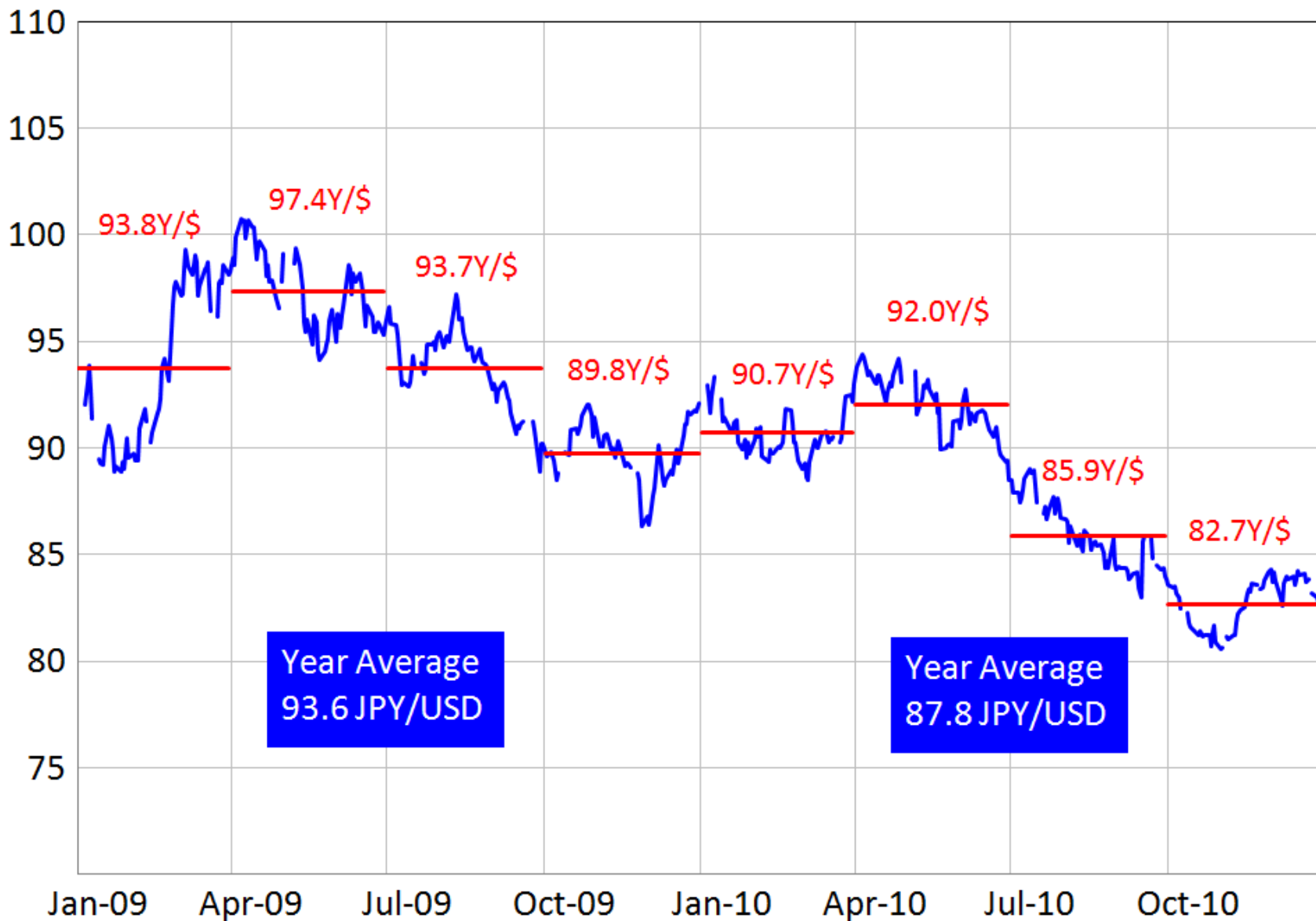




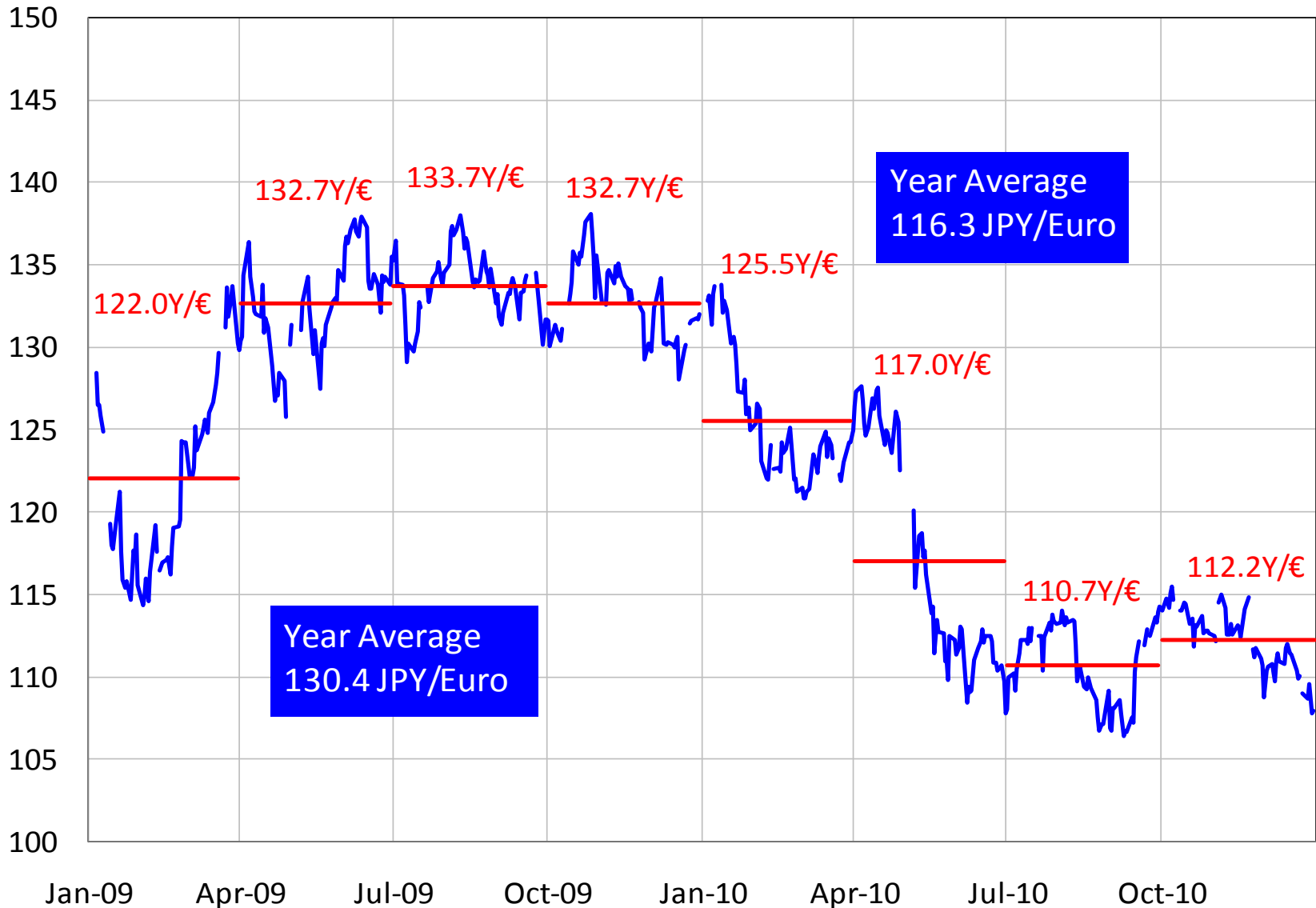
# ドバイ原油価格の推移 (Platt's Dubai)



# 為替レートの推移 (円/アメリカドル 仲値)



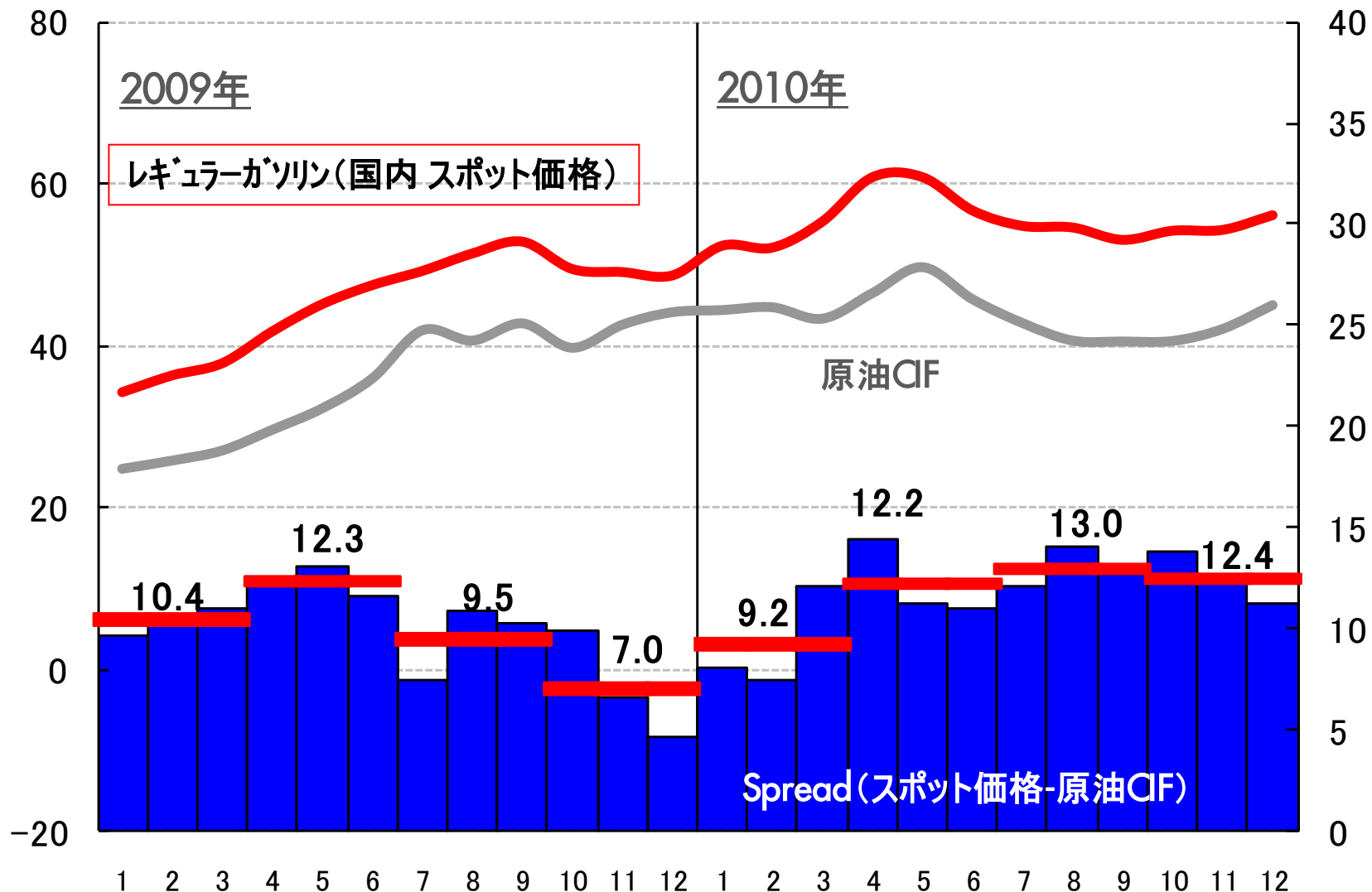
# 為替レートの推移 (円/ユーロ 仲値)



# 国内マーケットの状況①（ガソリン）

原油・製品価格 ¥/L

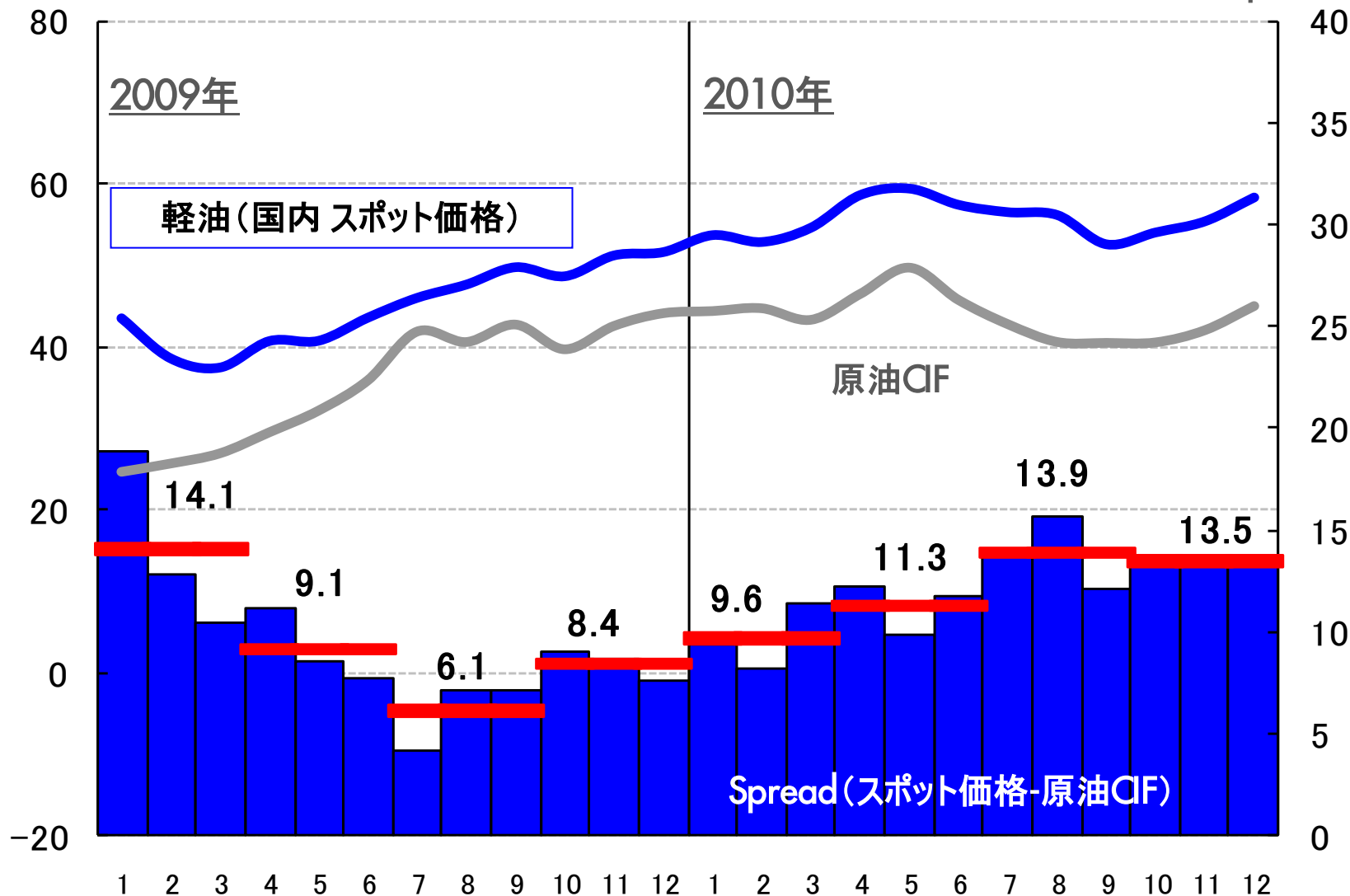
Spread ¥/L



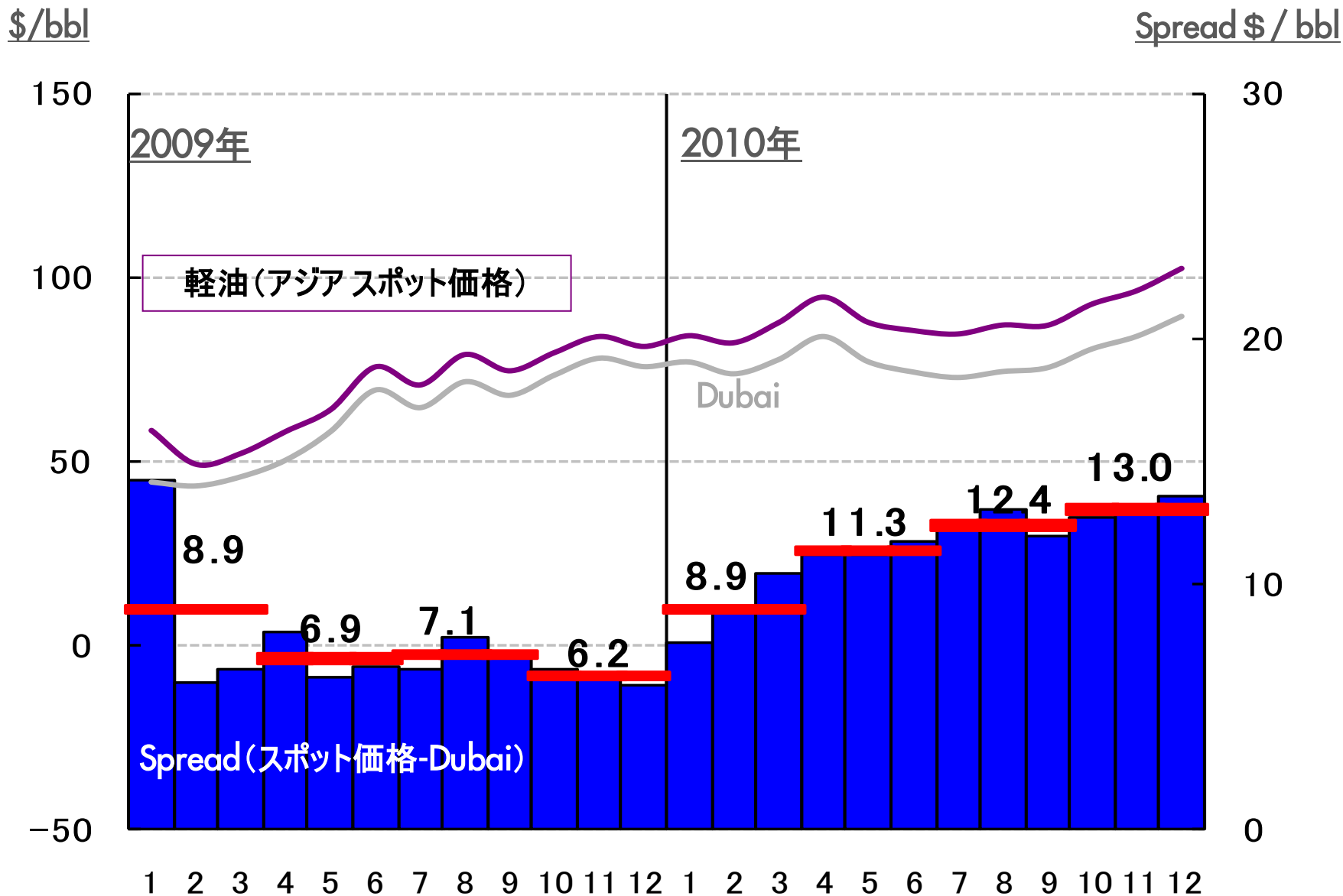
# 国内マーケットの状況②（軽油）

原油・製品価格 ¥/L

Spread ¥/L



# 海外マーケットの状況①（軽油）



# 海外マーケットの状況②（ミックスキシレン）

